

**第87回千葉県メーデー**  
(5月1日)

千葉10:30～ 千葉市中央公園  
 船橋10:00～ 天沼公園  
 松戸14:15～ 松戸西口公園  
 柏 10:00～ 柏公園  
 市原10:00～ 市原市総合公園  
 八千代10:00～ 八千代台東第4公園

**ちば労連**

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール [chibarouren@axel.ocn.ne.jp](mailto:chibarouren@axel.ocn.ne.jp)

第 293 号 URL 版 2016 年 4 月 30 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1面】

# 日本の夜明けは千葉から 戦争法廃止・社会保障の拡充を

## 立憲主義を取り戻そう

### 県革新懇が学習決起集会開催

3月21日、千葉県教育会館で千葉県革新懇主催の『「安倍政権は倒せる！5党合意を力に戦争法廃止を」2000万人署名達成めざす学習決起集会』が開催されました。500席の会場は満席。通路への立ち見、座り見も出るほどの大盛況でした。



立ち見が出るほど大盛況の学習決起集会

#### 戦争法廃止に向けて

千葉県革新懇代表世話人の三輪定宣千葉大名誉教授が「集会の目的は二つ。戦争法廃止に向け2千万署名運動の達成のために県内の交流をすること、情勢や理論の学習すること。みなさんの積極的な参加を」と開会のあいさつをしました。

団体・地域からは、安保関連法に反対するママの会@ちば、戦争させない！2千万署名推進八千代実行委員会、戦争させない・九条壊すな！2千万署名総がかり松戸実行委員会が、この間の活動や2千万署名の取り組みを報告しました。

各党からのあいさつでは、共闘する5野党

すべてに案内を出したと報告され、社会民主党と生活の党からのメッセージが読み上げられた後、日本共産党の浅野ふみ子さんが連帯のあいさつと「戦争法を必ず廃止させましょう」と力強く決意を述べられました。

#### 選挙に勝たねば

講演は、慶應義塾大学名誉教授で憲法学者の小林節さん。「安倍暴走を止めるために」をテーマに、小

林節(ぶし)がさく裂。講演中、会場は笑いと拍手でつつまれました。「今の政治を変えるには、政権交代しかない。選挙は参加するだけでは意味がない。勝たないと。野党共闘ができあがっても、野党が本気で全力でたたかわないと選挙に勝てない。安倍政権によって憲法 9 条という日本国憲法の非常に重要な特色がぶち壊された。政治を憲法の軌道に戻す、立憲主義の回復、立憲政治の回復、これ以上に勝るものがない大義のために、野党は手を結びましょう」と会場に訴えました。講演後、参加者からの多くの質問にも、明快に答えてくれました。

### 団結して戦争法廃止へ

最後に革新懇代表世話人の松本悟さんが「本土の平地で一番早く日の出を見ることができるのは千葉県の犬吠埼。日本の夜明けは、千葉から変えていこうではありませんか。全員で団結して戦争法廃止に向けてたたかっていきましょう」とあいさつをし、拍手喝さいのなか閉会しました。

## いのち守れ！いかそう憲法 25 条！

### 4・17 千葉県民のつどい

4 月 17 日、千葉市内で「いのち守れ！4・17 千葉県民のつどい」が開催され、県内から 360 名を超える参加者が集まりました。つどいは県内の様々な団体・組織から立場を超えた 14 名を呼びかけ人として、同実行委員会が主催したものです。

#### 一億総活躍の欺瞞

講演では、立教大学コミュニティ福祉学部の芝田英昭教授から「一億総活躍社会の欺瞞」と題して、「一億総活躍社会」は、活躍しなければ非国民であった戦前・戦中の「国家総動員法」そのものであること、そして待機児童解消や出生率の向上、介護離職ゼロなどの政策が、夏の参議院選挙を見据えた「バラマキ」であることを鋭く指摘しました。それらを跳ね返していくべく、韓国やドイツの介護保険制度の改善や、ニュージーランドの子ども医療費無償化の動きを紹介しながら「大企業から取るべき税金を取れば、税源はある」ことが強調されました。



プラカードで要求をアピール

#### 各分野からも

特別報告では、2014 年におこった「銚子市県営住宅追い出し母子心中事件」の現地調査団の藤岡拓郎弁護士から報告と提言が示されました。さらに、貧困の広がりや格差の広がりによって子供の進学にかかわる出費に困窮する母親からの報告。医療・介護現場で起こっている政府・厚労省政策の矛盾。自治体職場での「官制ワーキングプア」の問題。

各分野からの発言によって、安倍政権の社会保障・経済・戦争政策の害悪が噴出しており、主権者として一人ひとりが声をあげていかなければならない情勢が浮き彫りになりました。

つどい終了後、千葉中央公園での「アピールアクション」。沿道の県民に「憲法 25 条をいかして、いのちを守ろう」と訴えました。

## 4・19 『安保法廃止！オール千葉』 結成

### 2 千万署名達成めざし初行動

このほど、「安保法廃止！立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉県の会」（略称；安保法廃止！

オール千葉) が結成されました。

4 月 19 日には、結成の記者会見を終えた会のメンバー 120 人が、千葉駅頭で初の街頭署名行動を実施。通行人が次々と足をとめ、115 筆の署名が集まりました。

会の事務局は、安保法廃止を求める弁護士の会、再び戦争させない千葉県を千人委員会と、千葉労連が参加している憲法を守り・いかす憲法共同センターの 3 団体。

賛同者・賛同団体は、九条の会・ちばけん、千葉大学OG・OBの会、中央学院大学有志の会、ママの会@千葉、戦争は嫌だオール習志野行動、千人委員会市川、ミナちば、STAND、ひょうたん島研究会、憲法を考える千葉県若手弁護士の会など 15 団体です。

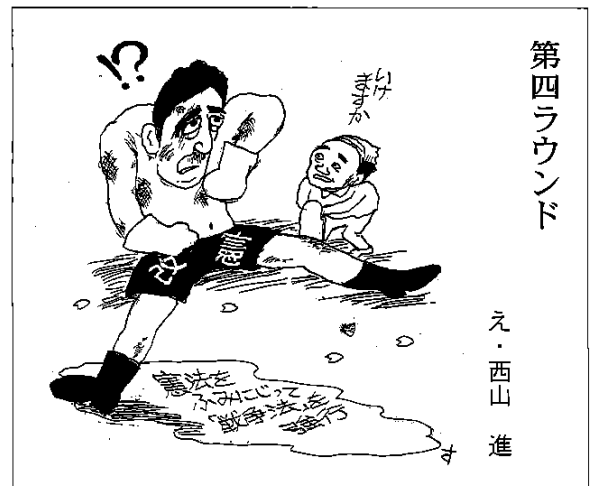
会は、中央総がかり行動実行委員会に呼応し、安保法廃止を求める全ての個人・団体に、千葉で統一運動をすすめようと呼びかけています。



千葉駅燃える！オール千葉の初宣伝

## 波濤

アヒル等の米資本が日本の経済社会を蹂躪し、労働組合のささやかな自主共済事業にも介入できる枠組みが TPP ▼ 営利事業と違う「組合員と家族のためのたすけあい事業」全労連共済への日米財界による支配介入は不当労働行為だ ▼ 組合員の方々から「大風で屋根がめくれたけど火災共済の補償は？」「家族が自転車事故で大きな賠償をしなきゃならないけど自転車保険の給付は？」「損保の自動車保険料が大幅にあがったけど全労連共済の掛金は？」こんな問合せが千葉労連・地方共済に寄せられる。給付 OK、掛金は大幅節約 ▼ 横暴政権は国会で TPP 批准を急ぐが、国民の被害は甚大。戦争惨禍、原発被害もろともノー。



【2面】

## 全県一丸のスクラム行動

### 千葉土建の『通年拡大』

千葉土建は 2014 年度から『通年拡大』と称して、一年間をいくつかのステージで区切り、目標と行動を設定して組織拡大をとりくんでいます。2015 年度は、3446 人の通年拡大目標を掲げて行動し、3 月末時点で 65% の達成率まで成果を積み上げてきました。

春の月間 (1 月 20 日～4 月 19 日) の力点として、①組合未加入事業所を中心に対話を深めること、②アンケートを用意し組合員と対話を深めること、③次世代層を対象としたイベントを成功させること、を掲げてきました。

事業所に対しては、元請から 2 次下請けまでの関係性のわかる名簿を用意し、最近の建設情勢を話題にしなが、訪問をしています。特に『スクラム行動』と名付けた訪問行動では、今まで『支部ごとに



おこなっていた行動』を『全県の参加者でおこなう行動』として、新たな試みにチャレンジ。千葉地域 2 回、市原地域 2 回の全 4 回おこないました。地域を限定して、全県一丸となり、まるでスクラムを組むような一体感を持ったとりくみで 1 日に 200 件近い訪問を成功させました。組合に加入してほしいという気持ちを抑え、組合の理解者を増やすという立場で対話を心掛けています。アポなしにもかかわらず、門前払いのようなことはほとんどありません。むしろ「話したかった」「千葉土建はいろんなものを送ってくるよね。参考にしてるよ」など予想を超える反響に驚きました。参加した仲間からも「励まされる」「事業所訪問が楽しい」など思いがけない効果に手応えを感じています。

並木拡大推進委員長を先頭に、千葉土建は 6 月の定期大会まで年間目標を追求し、新しい年度の弾みとして奮闘しています。



千葉土建  
拡大推進委員長  
並木寛治さん

## 自治労連千葉県本部が

### 道の駅キャラバン開催



道の駅・くりもと前の宣伝

自治労連千葉県本部・安房ブロックは、例年取り組んでいる安房総行動にかえて、「地域経済に春を呼ぶ『道の駅』宣伝行動」にとりくみました。

#### 戦争やっちゃいけない

3 月 15 日の行動は、安房ブロック全単組（館山市職・館山現業、南房総市職、鋸南町職、鋸南衛生労組、県職労・君津・安房支部含む）から 11

名、県本部から 4 名、千葉労連から 2 名の合計 17 名が参加。

2 コースに分かれ、A コースは、道の駅「保田小学校」、「とみうら枇杷倶楽部」、「三芳村」、「渚の駅 たてやま」、「市原アリオ前」、B コースは、「鴨川駅」を出発し、道の駅「ちくら潮風王国」、「君津ジョイフル本田前」で宣伝を行いました。

「地域経済活性化のためにも消費税増税ストップ」、「すべての働く人の大幅賃上げで、景気を回復し、また道の駅に買い物に来てください」、「南房総では、先の大戦時に花禁止令が出され、食料を植えるように強制されました。そんな中、大切な花を後世に残したいと山の中に球根や種を隠して守り、それが今花畑の再スタートになっています」、「若者も自衛隊員も、誰も戦争に行かせないために戦争法廃止の署名にもご協力お願いします」などマイクを使って宣伝、公務労組のチラシ配布、戦争署名にも取り組みました。鴨川駅では、バスを待つ高齢の男性の方（昭和一桁生まれ）に戦争法廃止の署名をお願いしたところ、「お国のために死ぬのは当然と教えられ、尋常小学校卒業と同時に無線士を志願。兄貴は魚雷で撃沈。自分も戦場に行った。戦争は二度とやっちゃおいねー（いけねえ）」と快く署名してくれました。

#### 警察官が本音を語る

3 月 27 日の行動は県本部・県職労・千葉労連から 7 名が参加、2 グループに分かれ県内 4 つの「道の駅」で宣伝行動を行いました。

香取市にある県内「道の駅」集客数トップの「水の郷さわら」では、ちょうど6周年を記念した大創業祭が行われており、二人にひとりがチラシを受けとってくれました。また、紅小町の郷「道の駅・くりもと」では、宣伝を始めるとちょうど移動交番がやって来て、宣伝後には高齢の警察官が「50代になって給料は上がらない。逆に下がる状況。退職金も450万以上削減で将来展望が見えなくなってきている」と本音を語ってくれました。

## 労働相談一ヶ月～正規から非正規に～

保育士から年次有給休暇についての相談です。内容は、育児休暇を取得、保育所が見つからず6カ月延長、やっと保育園に入ることが出来たが、第1希望から第6希望まで記載したところ、第6希望での入園となりました。通園に1時間近くかかるため、正規職員の勤務時間(8時半～5時半)に間に合いません、そのため、園長と話し合い、9時～5時勤務を認めてもらい、処遇はパート職員となり月給から時給となりました。同時に、年次有給休暇は、半年間働いた後、付与されることになりました。子供が小さいので、何かと休む必要が生ずることが考えられ、年休がなくなるのは大変困るというものです。

相談に対しては、育児休業期間は働いていたとみなすことになっているため、仮にパートに労働契約が変更されても、労働が継続されていれば、新規採用職員として付与期間を計算することは誤りと、労働局に確認して答えました。恐らく経営者は、正規職員を退職し、新たにパート職員として採用したという考え方を取った可能性があるかと伝え、園長に再確認することをすすめました。

この問題は、自宅に近い保育園に入園できないことから起きたものです。相談者は、それでも入られただけでもラッキーといいます。また、保育園の方も深刻な人手不足から、退職されると困るため、パートに切り替えて人手を確保したものと推測されます。話では、その後正職員に戻ることも可能ということが出されているといいます。口約束で大丈夫かなと思いつつ、深刻な保育所入園事情が、正規職員としての労働を続けられず非正規職員になった事例と思いました。【中林】